

令和3年6月10日(木)

公益社団法人日本観光振興協会

総合調査研究所 担当 安本・遠山・近藤

TEL: 03-6435-8333 FAX: 03-6435-6921

## 第40回 観光の実態と志向調査 結果速報

公益社団法人日本観光振興協会（本部：東京都港区 会長 山西 健一郎）は、過去1年間の国民の宿泊観光旅行の実態と今後の希望についての調査である「観光の実態と志向」調査を今年度も実施しました。結果の一部を速報としてお伝えいたします。

また、今回も前回に引き続き、「コロナ禍における観光旅行に対する意識・実態」について特別に調査を行いました。

「速報結果詳細 (<http://www.nihon-kankou.or.jp/home/userfiles/files/autoupload/No.40result.pdf>)」にて、こちらの詳細内容をご紹介しますので、ぜひご覧ください。

なお、本調査の報告書は令和3年9月ごろ発行予定です。

### 【結果】

#### ○ 国内宿泊観光旅行参加率および希望率の変化

- ・令和2年度の参加率は例年に比べて大幅ダウン
- ・今後1年間の参加希望率も過去最低値を記録

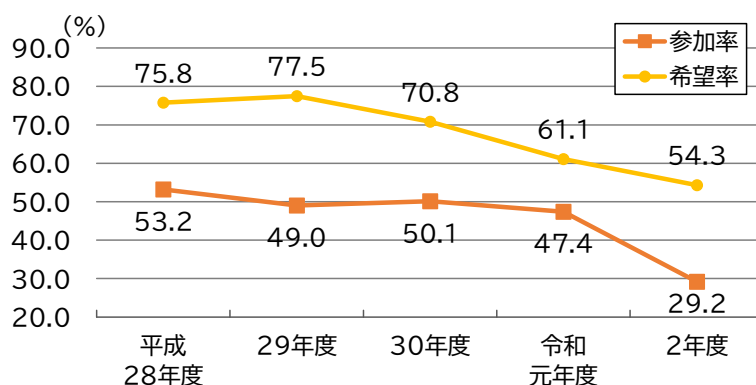


図1 国内宿泊観光旅行の参加率と参加希望率の推移

#### ○ 旅先での人との関わり方に対する意向

- ・移動制限（自粛）の反動か、約3割が「今まで以上に旅行に行きたくなくなった」と回答
- ・近場での旅行が増え、「自分が住んでいる近くの場所の魅力を発見した」人も約1割

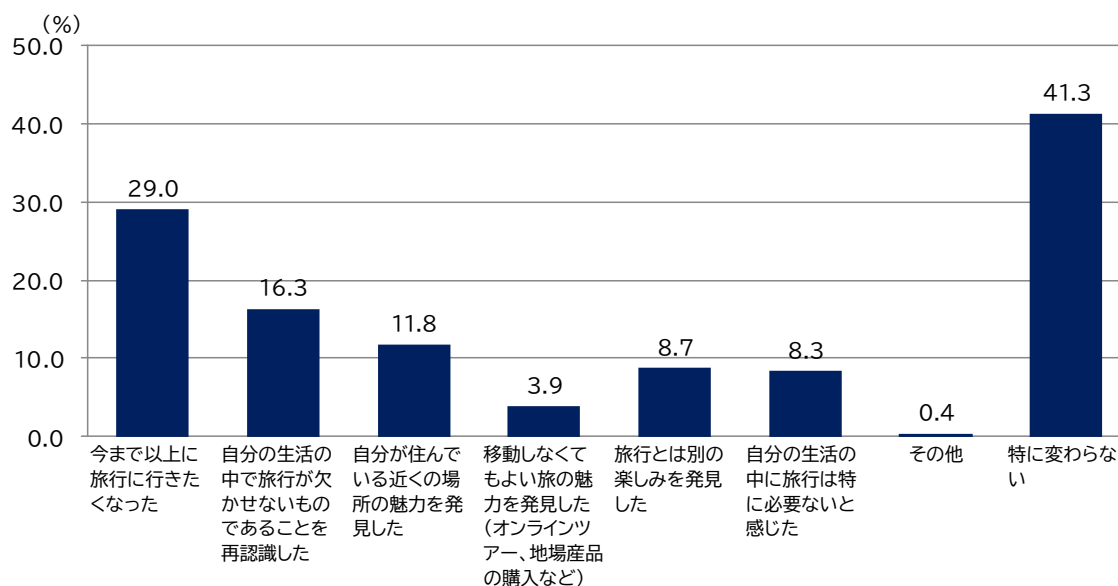


図2 旅行に対する思いの変化 (n=20,000) (複数回答)

## ■ 速報結果詳細について

### <トピックス>

1. 国内宿泊観光旅行参加率および希望率の変化
2. 旅行に関する割引キャンペーンの利用状況・意向
3. コロナ禍での旅行に対する思いの変化
4. 旅先での人との関わり方に対する意向
5. コロナ禍の旅行に必要な情報および入手ルート
6. オンライン旅行体験の有無

上記について、詳しい結果を紹介しております。

こちら (<http://www.nihon-kankou.or.jp/home/userfiles/files/autoupload/No.40result.pdf>) に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

## ■ 第40回 観光の実態と志向 調査概要

1. 調査目的：国民の観光旅行の動向を明らかにし、諸施策を推進するための基礎資料の作成を目的とする。
2. 調査項目：
  - (1) 過去1年間（令和2年4月～令和3年3月）の宿泊旅行の概要
  - (2) 過去1年間の宿泊観光旅行
  - (3) 今後の観光旅行の志向
  - (4) その他
3. 調査設計：

(1) 対象地域	全国（47都道府県）
(2) 調査対象	インターネットモニター
(3) 対象者条件	15歳以上の男女個人
(4) 設計標本数	20,000
(5) 標本抽出方法	都道府県別、性年代別人口構成比に準拠して割付 (平成27年度国勢調査結果を使用)
(6) 調査方法	インターネット調査
(7) 調査時期	令和3年4月22日～5月6日
4. 調査担当：株式会社サーベイリサーチセンター
5. 回収結果：有効回収数 20,000

<お問い合わせ先>

公益社団法人 日本観光振興協会 総合調査研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-1-1 虎の門三丁目ビルディング 6階

TEL：03-6435-8333 E-mail：soken@nihon-kankou.or.jp